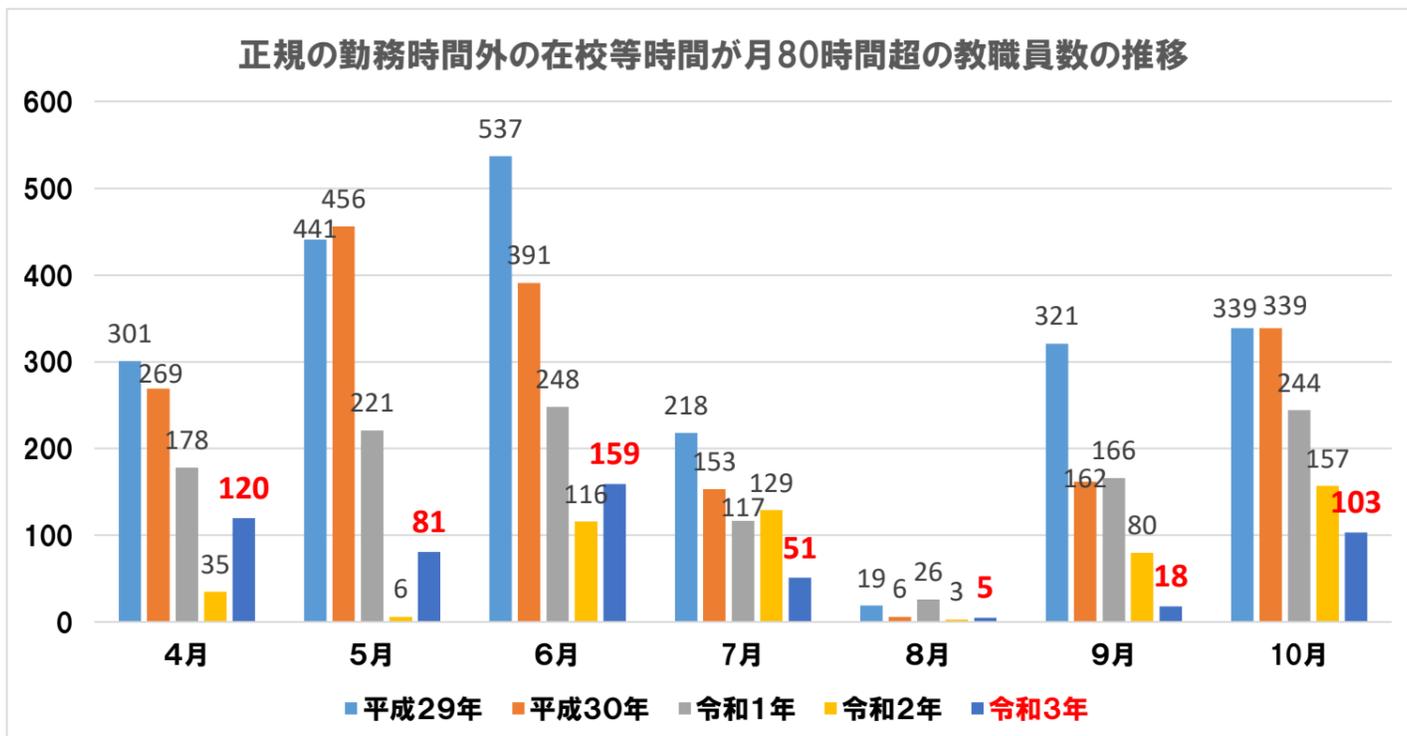


学校改革！教職員の時間創造プロジェクト

ニュースレター 令和3年度（2021年度）第3号

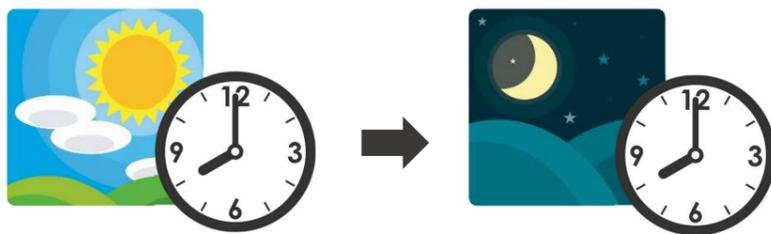
ひんやりとした空気を感じる季節となりました。園や学校では、運動会や学習発表会などの様々な学校行事が行われたことと思います。コロナ対応や「学校改革！教職員の時間創造プログラム」の取組で、行事を縮減する流れはあるものの、学校行事は子どもたちにとって大切な活躍の場でもあります。各学校で様々な工夫をしながら、子どもたちにとって一番良い形を考えられていることが、教育委員会事務局にも伝わってきています。教育委員会事務局としても、今後も好事例等を紹介しながら、その後押しをしていけるよう努めていきます。

下のグラフは、令和3年度(2021年度)4月から10月における正規の勤務時間外の在校時間が1月80時間を超えた教職員(熊本市立学校:幼稚園・小学校・中学校・高等学校・ビジネス専門学校・特別支援学校)の数を示したものです。コロナ禍による休校等のあった令和2年度と比較すると、増えている月もありますが、データを取り始めた平成29年度(2017年度)からの推移をみると、減少してきています。「学校改革！教職員の時間創造プログラム」と併せて、各学校での取組や各先生方が、時間を意識した働き方をしてくださっていることが分かります。



(参考) 年間の推移 H29:804人 H30:742人 R1:497人 R2:285人 R3(4~10月)264人

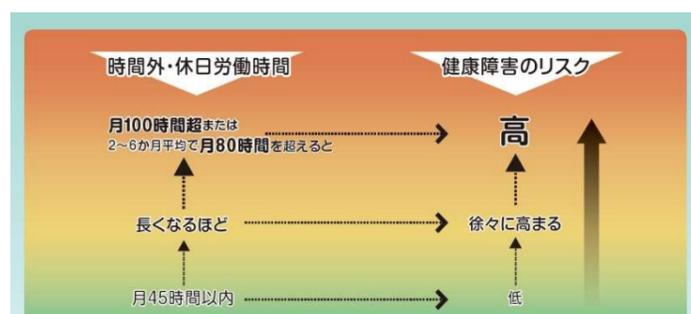
そもそも、月80時間ってどれくらいなのでしょう・・・



朝8時から夜8時まで学校にいる場合
4時間15分の時間外勤務が発生してしまいます。
1月に登校日が20日として、毎日この時間帯で
仕事をすると、1月80時間を超えてしまいます。

過労死ラインと言われる80時間に近づくほど、
健康障害のリスクは高まります。
先生方ご自身の健康のためにも、熊本市の規則[※]や
「学校改革！教職員の時間創造プログラム」の目標に
ある月45時間以内を意識してお仕事をしてみませんか。

[※]熊本市の規則:「教職員の業務量の適切な管理等に関する規則」



厚生労働省「過重労働による健康障害を防ぐために」より抜粋



目標になっているから、ではなくて**自分の健康**や、**自分の時間を
充実させるため**と思うと、意識して取り組もうと思えてきますね。



第2回 学校改革!教職員の時間創造プロジェクト会議が開催されました

令和3年10月15日(金)に、第2回プロジェクト会議が行われました。

協議では「園・学校現場での取組状況について」現状と課題についてご報告を頂きました。その中で、校種は違っても「**年休の取得**」「**マンパワー**」が共通の課題であるということが分かりました。

学校メンバーから出た主な意見

- ・年休を取りやすくするためには、迷惑をかけるという意識を変えるところに何か方策を打たなければならない。
- ・夏休みは、年休が取りやすいように研修を工夫する手立てをお願いしたい。
- ・取組が進む中で、私たち教員の意識を変えていくことが実は一番大事なのかもしれない。
- ・本校でもみんなで協力してやっつけていこうとしているが、その中でもマンパワーの必要性を感じる。



これらのご意見を受け、どのような取組が課題の改善につながるか検討しながら、教育委員会として取組を進めていきます。

特色ある取組をされている学校を紹介します ～チーム担任制～

「チーム担任制」とは

これまでは、一年間一人の教員が一つの学級の担任として職務にあたっていたものを、学年担当の職員がチームを組んで、担任を交代していくというものです。学年担任制、学年チーム担任制など呼び方は様々あります。

導入の目的としては

- ・複数の教員が担任となることで、生徒一人一人の**変化に気づきやすくなる**。
- ・生徒・保護者も話しやすい教員に相談できることで、より早く**一人一人に応じた支援をチームで行うことができる**。
- ・担任が変わることで生徒主体の学級づくりが進むなど、**生徒の主体性を育むことができる**。

といったことが挙げられます。

東野中学校

- ・令和2年度から導入 ・全学年で実施(R2年は1年生のみ実施) ・1年生は5学級を学年主任も入れて7人でローテーション
- ・2週間交代 ※ローテーションのメンバーや期間等は生徒の状況に応じて変更

竜南中学校

- ・令和3年度から導入 ・1,2年生で実施 ・1学年3学級を学年主任以外の4人でローテーション
- ・1週間交代 ※ローテーションのメンバーや期間等は生徒の状況に応じて変更

北部中学校

- ・令和3年度から導入 ・1年生で実施 ・1学年7学級を学年主任以外の9人でローテーション
- ・2週間交代 ※ローテーションのメンバーや期間等は生徒の状況に応じて変更



先生方から伺ったチーム担任制の良さ(○)と課題(★)

- これまでは、担任に相談できない生徒が保健室に来ていたけれど、**話しやすい教員に相談できるようになった**。
- 副担任の時や、急な休みの時に担任が変わっても生徒も教員も慣れているので**年休を取りやすくなった**。
- 保護者対応や生徒指導での課題を共有しやすくなり、複数で対応できるようになったことで**精神的な負担が大きく減った**。
- ★情報共有をしっかりと行うための場や時間の設定が必要。
- ★学級活動などそれぞれのやり方で行うと生徒も戸惑うことがあるので、学級運営上の工夫も必要。
- ★受験のある3年生には、より丁寧な対応が必要。

2学期に入り、いろいろな学校を訪問させて頂きました。チーム担任制の課題として挙がっていた3点についても、改善に向けた取組をすることで、「課題」と捉えていたことが「良さ」に変わることを実感されている先生もいらっしゃいました。管理職の先生方を中心にお話を聞かせて頂き、実際先生方の様子を拝見させて頂く中で、「先生方への思い」、「子どもたちへの思い」そして「これから先生を目指す人への思い」を感じました。何かの取組をする時に、必ずその先いる誰かを思っている…私も担当として、先生方のためにという思いを大切に、今後も働き方改革を進めていこうという気持ちを新たにしました。

今回も読んでくださってありがとうございました。次号では小学校の取組を紹介します。

